

長崎港空NEWS

NO.12 (2024年3月5日発刊)

○今回紹介する工事

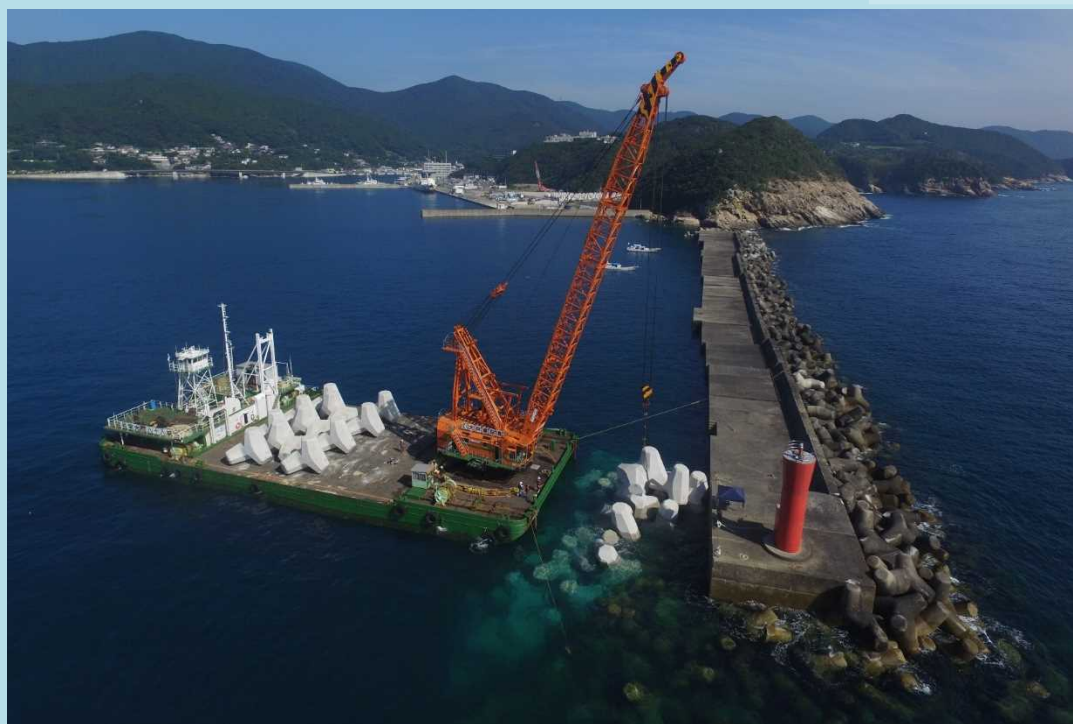
- ～佐世保港(前畑地区)岸壁(-10m)(改良)工事～
- ～巖原港(巖原地区)防波堤(北)(改良)工事～

○トピックス

- ～NEXTながさき☆ごみゼロプロジェクト～
- ～長崎東高等学校写真部 工事現場撮影会～
- ～カーボンニュートラルポート(CNP)～
- ～土木の日イベント～



長崎東高等学校写真部 現場撮影会



巖原港防波堤工事 消波ブロック据付

今回紹介する工事

上段:佐世保港(前畑地区)岸壁(-10m)(改良)工事
下段:厳原港(厳原地区)防波堤(北)(改良)工事

佐世保港 ~前畑地区岸壁(-10m) FRGカバー工法~

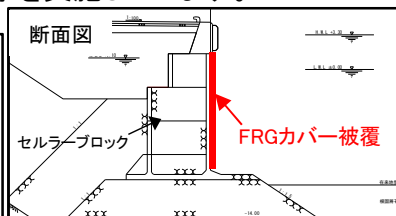
事業概要

※本事業の詳しい概要やこれまでの工事状況は、バックナンバー(2020冬号、2021秋号、No.9)をご覧ください。

佐世保港前畑地区の岸壁は、築造後50年以上が経過しており、老朽化が著しく、本体工(セルラーブロック)の変位や劣化が確認されているため、今年度から本体工をFRGカバーで被覆する工事を実施しています。

工事の流れ

- ①FRGカバーを設置するための取付金具をセルラーブロックにアンカーで固定
- ②陸上で組立てた鉄筋を岸壁から吊り降して、潜水士が所定の位置で固定
- ③取付金具にFRGカバーを設置し、先付けしたボルトにワッシャーとナットで固定
- ④セルラーブロックとFRGカバーの間にコンクリートポンプ車でコンクリートを打設



工事材料等

施工状況



厳原港 ~防波堤(北) 消波ブロック撤去・据付~

事業概要

※本事業の詳しい概要やこれまでの工事状況は、バックナンバー(2021春号、2021冬号)をご覧ください。

厳原港の第一線防波堤となる防波堤(北)は、整備後20年以上が経過し、高波浪による消波ブロックの沈下・移動が生じているため、防波堤の機能保全を目的とした改良工事を行っています。

令和4年度には港内側の工事が完了し、令和5年度からは堤頭部で既設消波ブロックの撤去や新たに製作した消波ブロックの据付のための工事を実施しています。

工事の流れ



トピックス

～出前講座・現場見学会～

NEXTながさき☆ごみゼロプロジェクト

令和5年11月2日、「NEXTながさき☆ごみゼロプロジェクト」の一環として、長崎市の精道小学校5年生12名に「海洋環境整備事業」の出前講座を実施しました。この出前講座は、長崎港湾・空港整備事務所と熊本港湾・空港整備事務所が合同で開催し、陸上では「長崎港の役割」や「漂流ゴミの回収」について学習して貰い、船上では海に浮かぶゴミの回収作業を見学して貰いました。

生徒からは、「普段できないことを体験できて嬉しかった」「船にクレーンがあるのは知らなかった」との発言があるなど、楽しくそして真剣に受講して貰うことができました。

今回の出前講座を通して美しい海を守るためにゴミの分別やリサイクルを心掛けてほしいと思います。

▼後日、精道小学校からお手紙をいただきました。



▼令和5年11月10日、民間放送のテレビ番組で出前講座の様子が放映され、YouTubeでは見逃し配信されていますのでぜひご覧ください！！



■海洋環境整備船とは
海洋環境整備船は全国に12隻、そのうち九州には3隻が配備されています。
通常は有明海や橘湾などの漂流ゴミの回収や水質などの環境調査を行っています。



長崎東高等学校写真部 工事現場撮影会

令和5年11月1日、「青春ビルドプロジェクト※」の一環として、長崎東高等学校写真部を招いて工事現場撮影会を開催しました。生徒には、当日の作業内容を説明し、船長が潜水士と連携しながらクレーン船でブロックを吊り上げている様子などを撮影して貰いました。生徒からは、「工事の目的・内容を知って撮るのと何も知らずに撮るのとでは大きく違う」などの発言がありました。

▼船上で当日の作業内容を確認する様子



▲船内から作業状況を撮影する様子

※青春ビルドプロジェクトとは・・・
高校生の新しい感覚で土木をどんどん切り取ってもらい新聞、SNS、写真展で土木の魅力を発信していくプロジェクト。

カーボンニュートラルポート(CNP)

- ▶ CNPの形成目的
我が国の産業や港湾の競争力強化と脱炭素社会の実現に貢献するため、港湾の脱炭素化の取組を推進しています。
- ▶ 長崎県内の取組
長崎港と佐世保港では令和5年度に「港湾脱炭素化推進協議会」が設立されました。国土交通省ではその取組を支援しています。

▼カーボンニュートラルポート(CNP)の形成イメージ



トピックス

～土木の日イベント～

浜町パネル・模型展

令和5年11月12日
長崎県主催の「DOVOCフェア2023」に
長崎港湾・空港整備事務所のパネルを出展しました！
令和5年度のテーマは
「変わっていくけん長崎！時代を担う土木の魅力」
パネルでは長崎県内各地の
港や空港が担う重要な役割や事業を紹介してきました！
今後も「土木の日」を通じて
皆さんに「土木の魅力」を知って貰いたいと思います！



S N S ジャック

令和5年11月18日「土木の日」
デミー博士こと長崎大学の出水享さんらが
「土木でSNSをジャックするアクション」を開催！
このイベントは担い手が不足する
土木の認知度向上と理解を促進すると同時に
SNSでオンライン上を盛り上げようという企画です！
長崎港湾・空港整備事務所でも若手職員が
「港湾土木最高」という文字を手に土木をPRしました！
最高の笑顔ですね！



国土交通省 九州地方整備局
長崎港湾・空港整備事務所



〒850-0961 長崎市小ヶ倉町3丁目76-72
TEL: 095-878-5175
URL: <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

フリーダイヤル おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

最寄りの港湾・空港整備事務所につながります

長崎港湾・空港整備事務所の業務内容

当事務所では、重要港湾の港湾施設（岸壁、防波堤、航路、泊地など）の整備と長崎空港の土木施設（滑走路、誘導路、エプロン等）の整備、開発保全航路の管理を行っています。具体的には、施設を整備・管理するための工事の発注や監督業務、工事を発注するための予算の要求などを行っています。また、海やみなとに関する相談、アドバイス、出前講座等を行っています。

※開発保全航路・・・国が開発及び保全を行う重要な航路のこと
長崎県内の開発保全航路・・・
蜷蛾ノ瀬戸航路（じょうがのせとこうろ）
万関瀬戸航路（まんげきせとこうろ）
平戸瀬戸航路（ひらどせとこうろ）

出前講座とは・・・？

出前講座では、職員が皆さんの職場や学校等に
出向き港・空港について
分かりやすく説明します。



事務所HP_QR

